

設置工事説明書

National

ナショナル ガスコンベクションオーブン

高速ガスコンビネーションレンジ
(電子レンジ機能付き)

NE-B701
NE-B701S
NE-B702
NE-B702S
NE-B601

高速ガスコンベクションレンジ
(電子レンジ機能無し)

GE-B401

※この機器と接続可能なドロップインコンロは、以下のみです。それ以外のドロップインテーブルとは接続できません。(この機器の単独使用はできません。)

「GE-BH10S,G,F」「GE-MH10S,G,F」「GE-WH10F」
「GE-MH12F」「GE-MT10F,G」「GE-BH11S」

工事される方へのお願い

- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料となります。
- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は安全確保のため必ず定期点検(有料)を受けてください。
- 器具を正しく安全にご使用いただくために説明書をよくお読みになって指定された工事を行なってください。
- 設置工事が終わったら設置工事後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

設置工事後の点検確認

●チェックリスト

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	2	
同こん部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	3・7	
可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	4	
設置条件	障害物等との離隔距離は十分ですか。	2	
保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	4	
水平設置	水平に設置されていますか。	2	
安定設置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	4	
給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	2	
ガス接続工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	5・7-②	
電気工事	電源コンセントは専用回路になっていますか。アース工事はされましたか。	6	
その他	オープン庫内に同こん物が残っていませんか。	3	

試運転

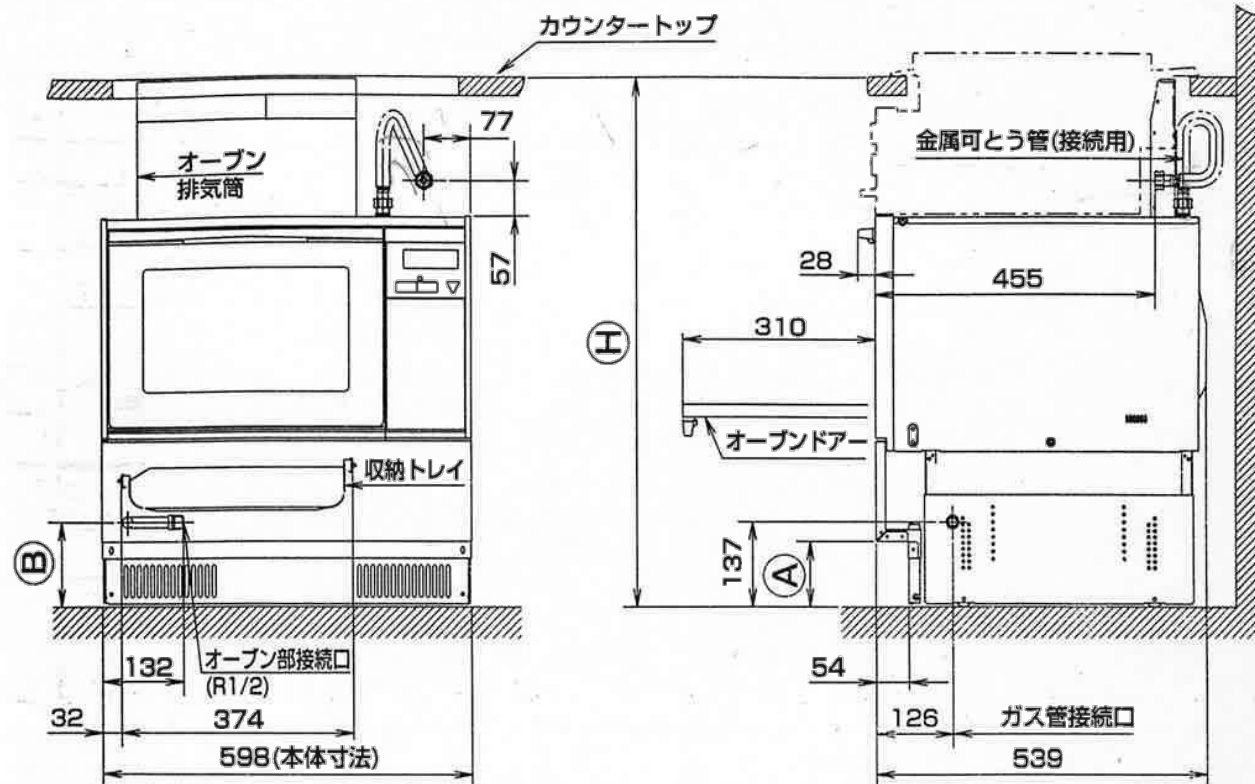
1. 取扱説明書の「使いかた」に基づき試運転を行なってください。
2. 試運転が終了した後長時間使用しない場合等は、ガス栓を閉じる等してください。

お客様への取扱い説明

1. 取扱説明書により器具の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書とともに、設置工事説明書も併せて保管していただくようお願いをしてください。

1. 寸法図

[単位: mm]



高さ調節

■器具の高さH寸法

NE-B701、NE-B702、NE-B601、GE-B401の場合は800~860 mmの範囲で、NE-B701S、NE-B702Sの場合は700~800 mmの範囲で、調整できます。

この場合のA・Bの寸法は下表の通りです。

■NE-B701、NE-B702、NE-B601、GE-B401の場合

出荷高さ:	高さ調節範囲	カウンタートップの高さ	A	B	高さ調節方法
780	800~860	850	105	137	高さ調節棒:
		800	55	87	上下5 mm間隔

■NE-B701S、NE-B702Sの場合

出荷高さ:	高さ調節範囲	カウンタートップの高さ	A	B	高さ調節方法
750	700~735	700	55	48	棒微調節ねじ:
	740~765	750	105	98	上下0~5 mm
	770~800	800	155	148	無段階

■器具の高さ調節方法

7. 器具設置の手順「4 高さ調節」の項を参照してください。

2. 安全上のご注意 必ずお守りください

器具を正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者及びお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った設置工事を行なうと、設置工事業者または設置後の製品の不具合により使用者に生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■建築基準法、消防法、各都市の市条例、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準及び実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)電気設備技術基準などに従う



上記に従わないと、不備により火災などの原因となります。

■この「設置工事説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行なう



有資格者以外のもとでの工事は、不備により器具故障や火災の原因となります。

■工事終了後は、この「設置工事説明書」と「取扱説明書」を一緒に必ずお客様にお渡しする



工事説明書どおり設置されていることおよび正しい器具の使用方法が分からなくなります。

■電源は専用コンセントを設ける
(電子レンジ機能付きのみ)



他の器具と共用すると、過熱し火災の原因となります。

■同一回路でトースターや電気炊飯器などの電熱器を同時に使わない
又、電気容量は15 A以上にする



他の器具と同時に使用したり、電気容量15 A以下を使用すると、過熱し火災の原因となります。

■アースを確実にとる
(電子レンジ機能付きのみ)



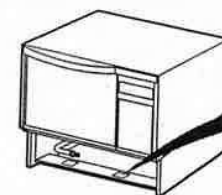
アース線接続

取り付けないで使用すると故障や漏電の時に感電することがあります。



注意

■銘板に表示の電源(電圧、周波数)及びガス種を使用する



型式名

都市ガス用

ガス区分	12A	13A
ガス消費量		

〇〇〇〇年××月

GF定格 100 V(Hz) W

異なるガスで使用した場合、異常燃焼となり一酸化炭素中毒や、やけど・火災の原因となります。又、異なる電源を使用すると故障の原因となります。(銘板は、本体内の下部カバー内に貼付)



注意

■設置する部屋には必ず給気口を設ける
(給気口の大きさは、1.16 kW (1 000 kcal/h) 当たり10 cm以上を目安にする。)



十分な給気ができないと不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

■カウンタートップが金属製の場合は必ず絶縁テープなどで絶縁処理をする



漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。(電気設備技術基準182条により義務付けられています。)

■ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しない



火災の原因となります。

■水のかかる場所には設置しない



ガラスの破損やけが、漏電による感電の原因となります。

■丈夫で水平な場所に設置する



異常燃焼の原因となります。

■設置する部屋には必ず排気口を設ける
(ガス消費量が、11.6 kW (10 000 kcal/h) を超える場合、器具の真上に排気フード付排気筒(レンジフード)を設ける)



十分な排気ができないと室内に排気がこもり、不完全燃焼し一酸化炭素中毒などの原因となります。

■器具本体を家具及び家具の一部となる金属部と接触させない



漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。(電気設備技術基準182条により義務付けられています。)

■落下物の危険のある所及び、樹脂製の照明器具の下には設置しない



火災の原因となります。

■器具後方の排気口(オープン・グリルの排気口)を水切りカバーなどでふさがない



ふさがると高温となり火災や一酸化炭素中毒の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により器具が転倒し、火災や器具故障の原因となります。

3.

開

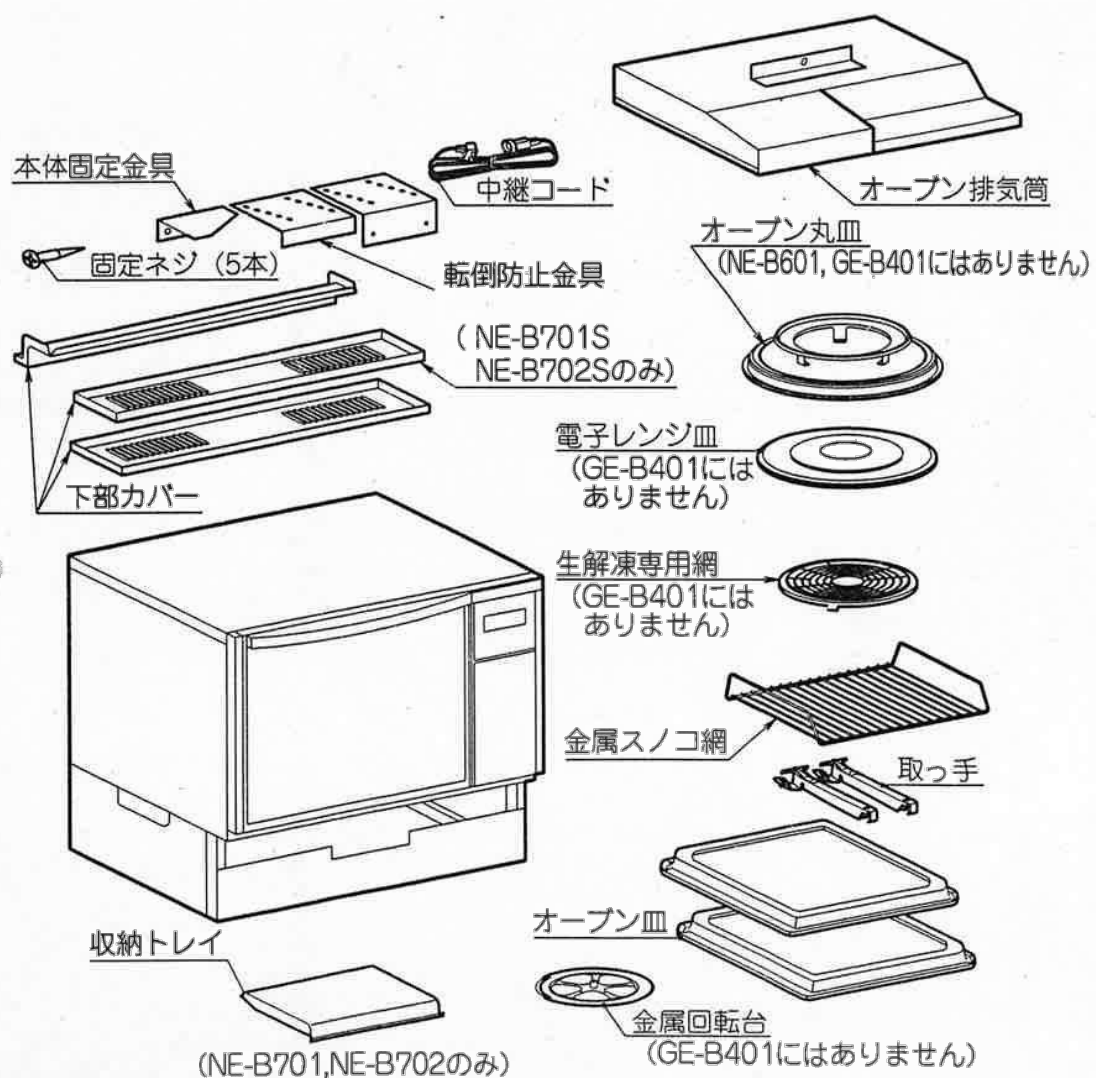
■開梱しましたら次の項目を確認してください。

- テープやマットを取り除いてください。……………輸送中器具を保護するものです。
- 器具の外観に異常がありませんか？……………キズ、つまみ類の損傷など。
- 同梱部品の種類と数を確認してください。……………品番により付属部品が異なります。

※取扱説明書、料理ブックはオープンの中に入っています。

お客様にお渡しいただくまで紛失しないよう大切に保管してください。

部品の確認



4

■防火上の離隔距離

器具を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所または、防火上有効な間隔を確保することが出来る場所に設置してください。

- 燃焼器具を設置する場所には、建築基準法や電気設備技術基準、火災予防条例などに定める防火処置を施す必要があります。
- この器具を設置される台所が、建築基準法などに定める〔内装制限を受ける調理室〕に該当する場合は台所全体についても内装材の制限を受けます。

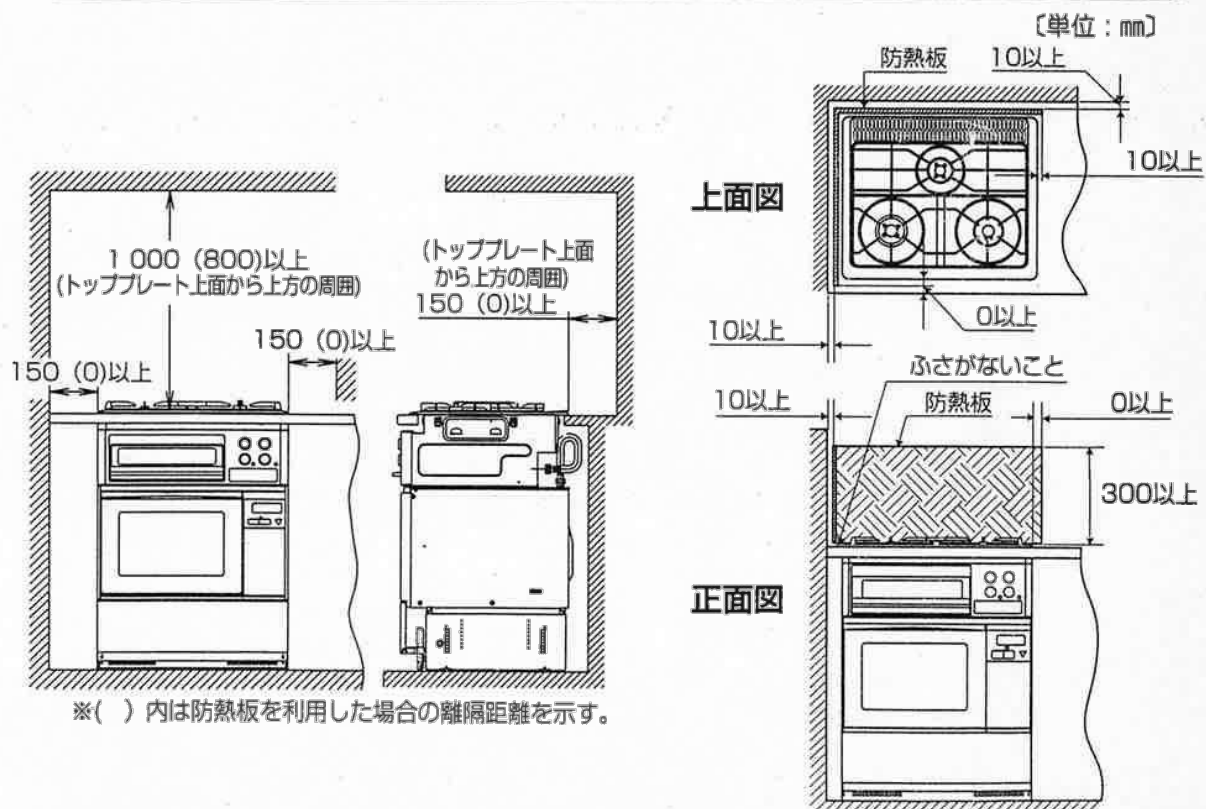
⚠ 注意

■周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する



近すぎると壁などが異常に過熱され、発火、火災になる恐れがあります。

- 火災予防条例に準じ、トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃物から15 cm以上離して又、上部に可燃物（吊り戸棚など）がある場合は、トッププレート上面と可燃物との間に100 cm以上の空間を設けてください。



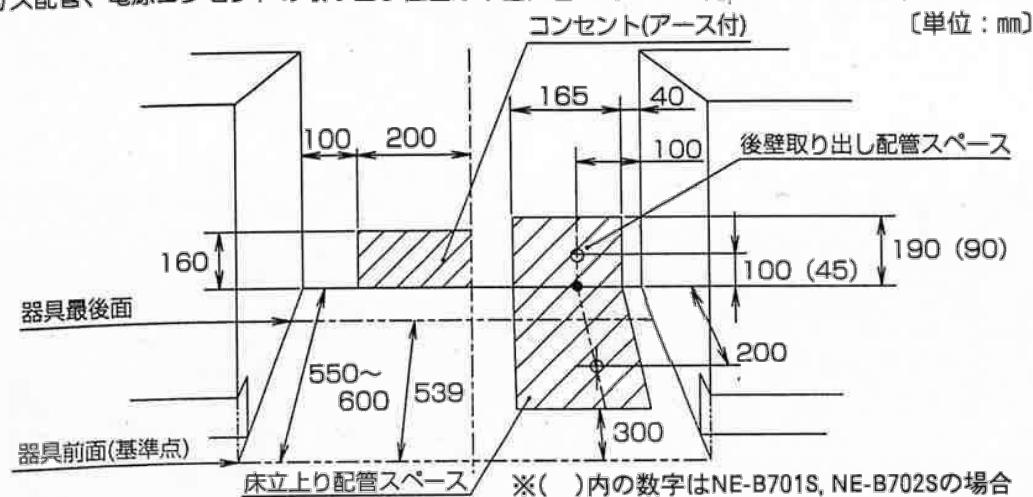
- 上図は器具と可燃材料、難燃材料又は準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等との離隔距離を示し、() 内は上記に防熱板を取り付けた場合の寸法を示します。
- 器具と壁面との間隔を 15 cm 以上離せない場合、又は吊り戸棚などの下面との間隔を 100 cm 以上離せない場合には、壁面及び器具上部へ図のように防熱板（別売品）又は、防熱板相当の不燃材を取り付けてください。

5. ガス配管工事 ガス接続は金属管接続してください。

●配管工事については、ガス供給業者の指定工事店にご相談していただくとともに必ず、有資格者により工事をしてください。

ガス管工事をされる方へ

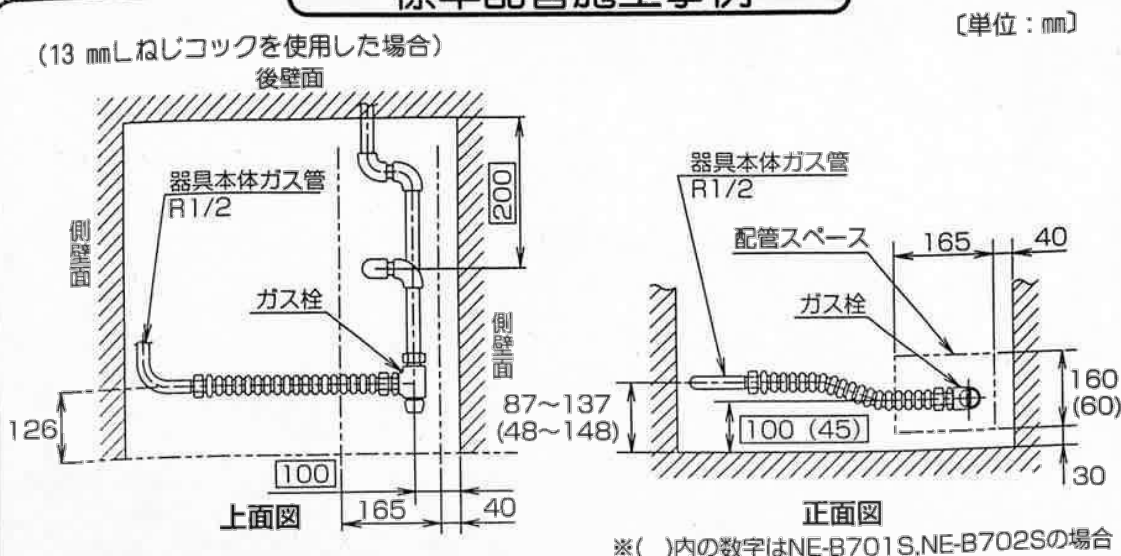
- ガス栓は、標準配管施工事例に従って取り付けてください。
- ガス配管、電源コンセントの取り出し位置が下図に合っているか確かめてください。



ガス接続

- ガス接続はR1/2ねじになっています。必ず金属可とう管にてガス接続してください。鋼管接続されますとメンテナンス時に修理できない場合があります。
- 金属可とう管が、器具本体の接続口より上方に飛び出したりしますと、収納トレイが取り付けられないことがあります。

標準配管施工事例



ガス漏れの確認

- ガス接続が完了しましたら必ずガス漏れを確認してください。ガス漏れ確認の検圧口はドロップインテーブルの器具本体接続口の近くにあります。(器具後面右下部) (ドロップインテーブル側の「設置工事説明書」を参照して行なってください。)

6. 電気配線工事

●電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。

⚠ 注意

- 電源工事や設置工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」などに準じる



- 電源コードの長さは、中継コードを含め1.5 m です。

アースについて

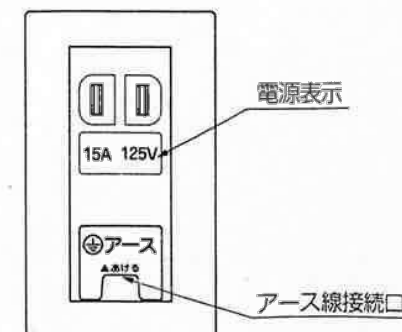
- アースを取り付けてお使いください。
- アースの取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。
- アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

コンセント

- 専用コンセントを設けてください。なお電子レンジ機能付きの場合の電気容量は15 A以上にしてください。

電 源	交流100 V 50-60 Hz	
消費電力	電子レンジ	オープン
	1.07 kW	74 W

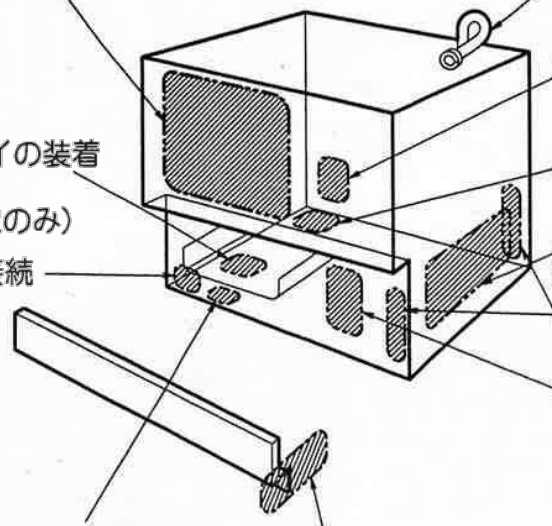
〔推奨コンセント〕 アースターミナル付
松下電工製 WN1031



この機器はAC100 V用です。必ず電源を確認後、プラグを入れてください。

7. 器具設置の手順

手順と施工箇所

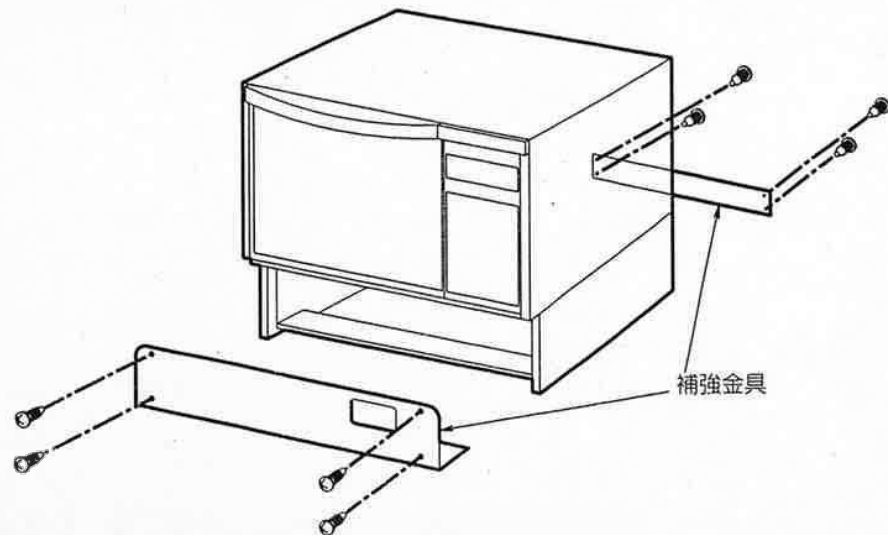
- 
- ① 付属部品の取り出し
 - ② 前後補強板の取り外し
 - ③ 金属可とう管（接続用）接続の調整
 - ④ 高さ調節
 - ⑤ 転倒防止金具の取り付け
 - ⑥ 中継コード、アース線の接続
 - ⑦ 中継コード、アース線の束ね 中継・電源コードの接続
 - ⑧ 収納トレイの装着 (NE-B701 NE-B702のみ)
 - ⑨ ガス管の接続
 - ⑩ 固定ボルトの締め付け
 - ⑪ 下部カバーの取り付け

① 付属品を取り出す

- オープン庫内、収納ユニットから付属品を取り出してください。
- 「3. 設置前の確認」の項を参照してください。

② 前後の補強金具と固定ねじを外す

〔補強金具は輸送時のもので設置時は不要です。〕



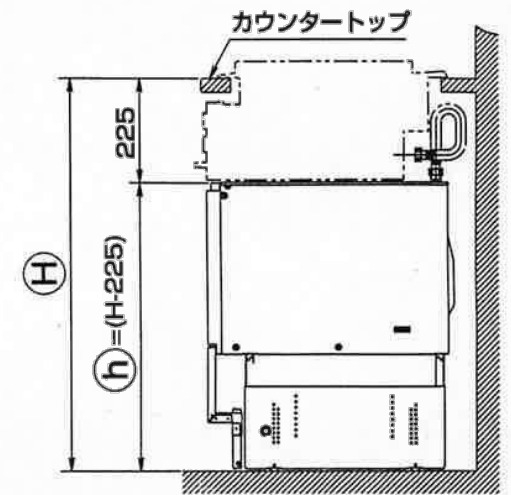
③ 器具高さHの確認

- カウンタートップの高さHを確認してください。

〔お願い〕

- カウンタートップ高さHは床面から最も低い寸法にて「④器具高さの調節」を行なってください。

※床面が傾いたり、著しい凹凸がある場合、設置後ドロップインテーブルが浮く場合があります。

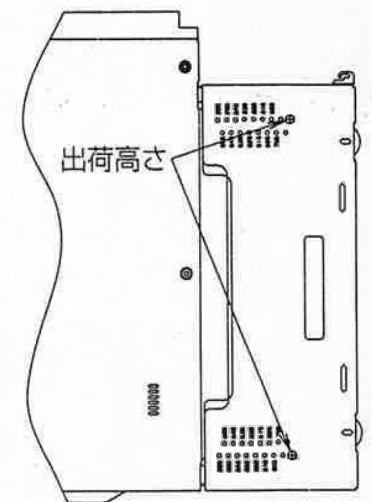


④ 器具高さHの調節

- 器具を右図(後ろ向き)のように倒して、タッピンねじ(黒色)×4(片側2本)を調整したい位置(刻印の数字)に付けかえ、固定してください。

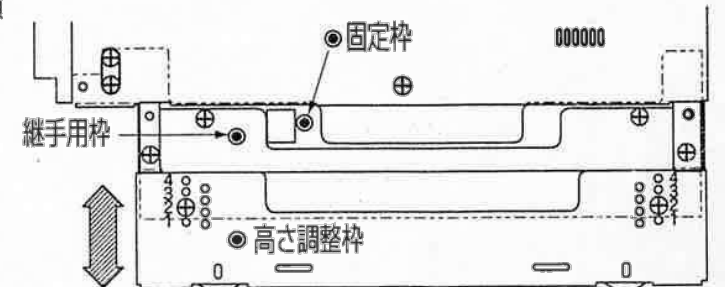
〔お願い〕

- 微調整(調整ねじは⑩項参照のこと)は最も低い位置で設定されています。
- カウンター高さHが5 mm間隔の中間となった場合、必ず低い寸法に合わせてください。
例…「827」の場合、刻印「825」に合わせる
- 器具を倒したり、立てたりする場合、急激に倒したり、床面などに傷を付けないよう注意してください。



④' 器具高さの調節：NE-B701S, NE-B702Sの場合

- 「4. 器具高さの調節」と同じ要領で調節してください。
- 調節高さは、各々の高さにあてはまる数字を表で確認し、合わせてください。
- 固定ねじ、締め付け用ねじを紛失された場合、②で外したねじを使用してください。



●NE-B701S, NE-B702Sの場合

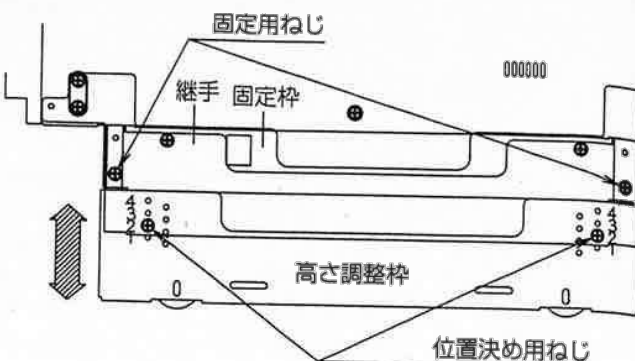
■カウンタートップ高さ：735～770

設定位置が750(出荷高さ)の場合は、そのままとする。

750以外の寸法の場合

- (1)固定用ねじを外す。各2本左右
- (2)高さ調整枠を設定位置に合わせ、位置決め用ねじで締め付ける。各2本左右

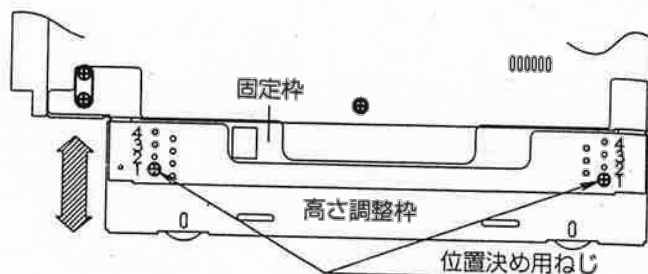
カウンタートップ高さ	締付穴
740	1
750	2
760	3
770	4



■カウンタートップ高さ：700～730

- (1)固定用ねじを外す。各4本左右
- (2)継手枠を取り除く。各1本左右
- (3)高さ調整枠を設定位置に合わせ、位置決め用ねじで締め付ける。各2本左右

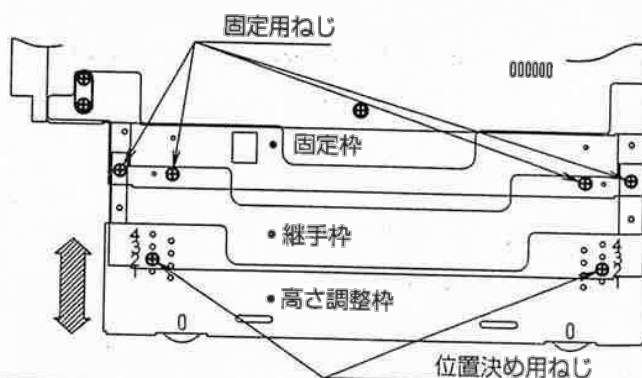
カウンタートップ高さ	締付穴
700	1
710	2
720	3
730	4



■カウンタートップ高さ：770～800

- (1)固定用ねじを外す。各4本左右
- (2)固定枠と継手枠を右図の位置で固定する。
- (3)高さ調整枠を設定位置に合わせ、位置決め用ねじで締め付ける。各2本左右

カウンタートップ高さ	締付穴
780	2
790	3
800	4



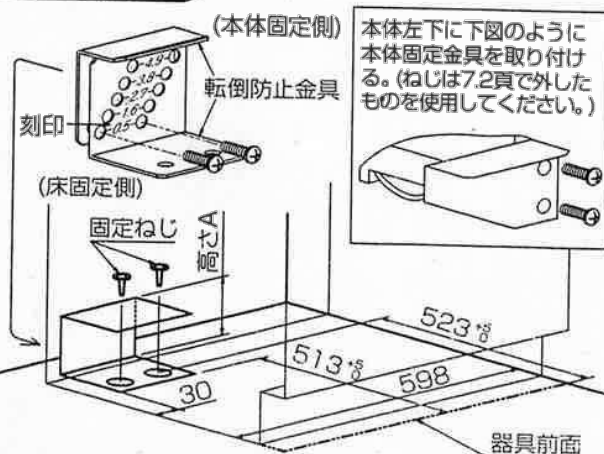
⑤ 転倒防止金具の取り付け

- 下図の寸法に合わせ、固定ねじで転倒防止金具(固定側)を床面に固定する。

- 転倒防止金具の床固定側と本体固定側を固定ねじ(ねじ×2)で固定する。

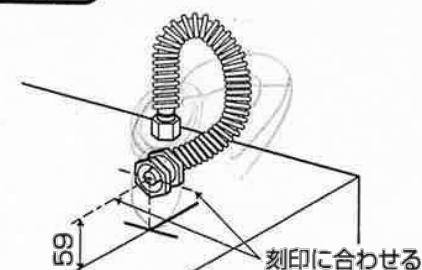
※③器具高さHの確認で測定した数字(mm)の末尾数字と刻印の数字を合わせてください。

例…H832の場合、刻印「2」に合わせ、締め付ける



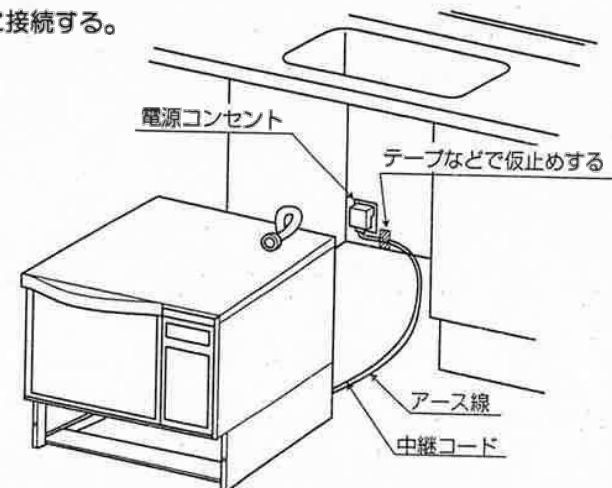
⑥ 金属可とう管の調節

- 器具に組付している金属可とう管を右図のようにあらかじめ曲げておく。



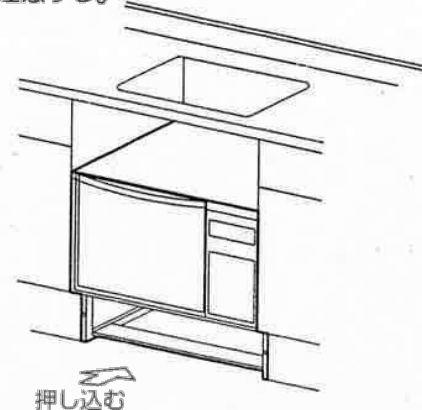
⑦ 中継コード、アース線の接続

- 中継コードのプラグは電源コンセントに、アース線はアース端子に接続する。



⑧ キッチンにセットする

- 本体をキッチンにはめ込む。
- 中継コード、アース線をかみ込まないように注意する。

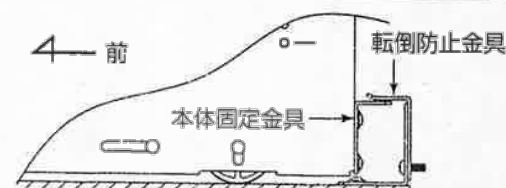


⚠ 注意

■器具を確実に固定する



器具の左下奥の金具で固定されています。固定されていないと器具が傾き、やけどやけが、火災の原因となります。(固定されていない場合は買い上げ先にご連絡ください。)



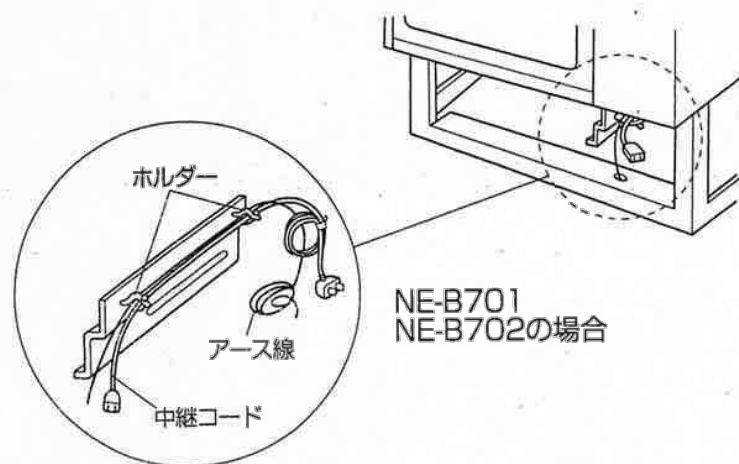
7. 器具設置の手順

⑨ ドロップインテーブルとの接続

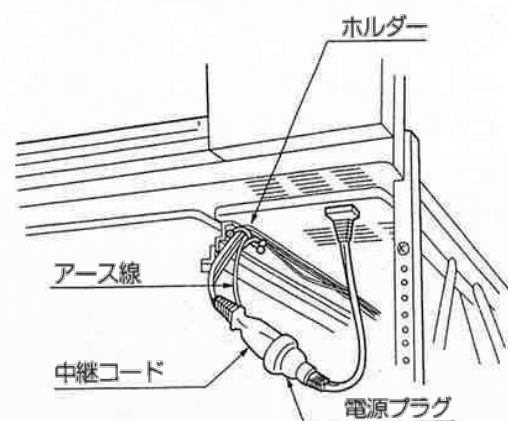
- ガスコンベクションを設置した後、器具の接続用金属可とう管をドロップインテーブルに接続してください。
 - 詳細については、ドロップインテーブル側の「設置工事説明書」に従い接続してください。
- 【お願い】
- 接続部のリングが入っていること、およびリングに傷のないことを必ず確認してください。
 - 接続用金属可とう管はあらかじめ「⑥金属可とう管の調整」に従い、調整しておいてください。

⑩ 中継コードと本体電源プラグを接続する 中継コード、アース線を束ねる

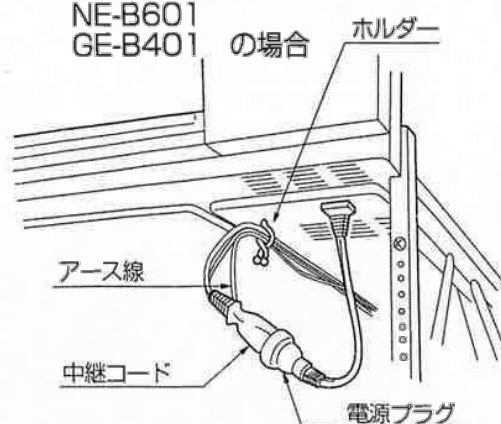
- 中継コードと本体電源プラグを接続した後、図のように中継コード、アース線を束ねてホルダーで固定してください。



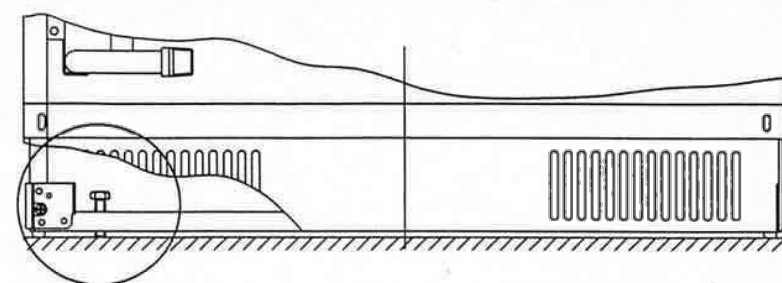
NE-B701
NE-B702の場合



NE-B701S
NE-B702S
NE-B601
GE-B401 の場合



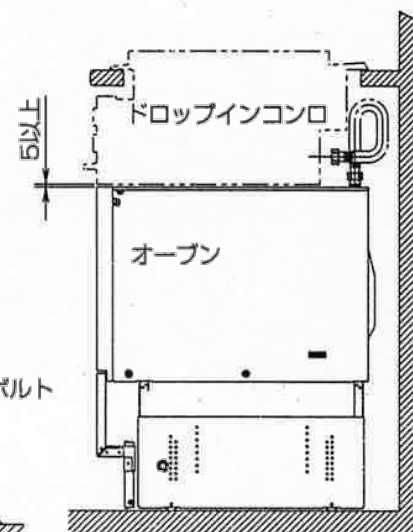
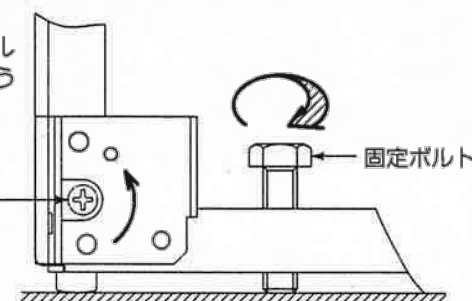
⑪ 本体下部の床固定ボルトを締め付ける



- 左右のキャビネットの扉前面と器具の前面とのツラを合わせてください。
- 調整ねじでドロップインテーブルとオープンの隙間(右図)を5 mm以上に設けてください。
- 固定ボルトを締め付けてください。(床に当たってから1回半位回してください。)

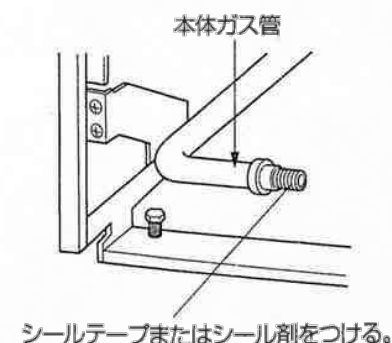
ドロップインテーブル
が浮き上がらないよう
にしてください。

(高さ) 調整ねじ
(当初は最も低い位置で設定)

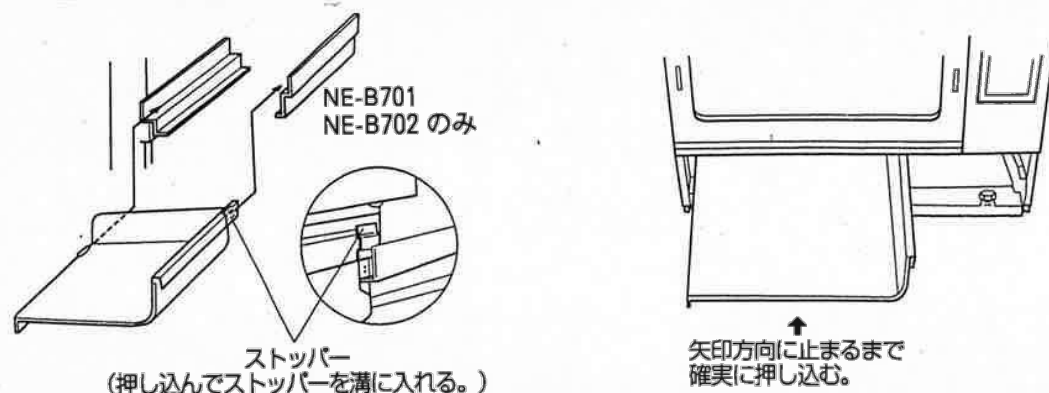


⑫ ガス接続をする

- ガス引きこみ管と本体ガス管を接続する。
- ※別売品の金属フレキシブルホースを使用のこと。
※必ずガス漏れ検査を行なうこと。
※ガス漏れ検査後、検圧口のねじがしまっていることを確認してください。
(検圧口は、ドロップインテーブルの接続口の近くに
あります。詳細は、ドロップインテーブルの「設
置工事説明書」を参照してください。)



⑬ 収納トレイを取り付ける NE-B701, NE-B702のみ



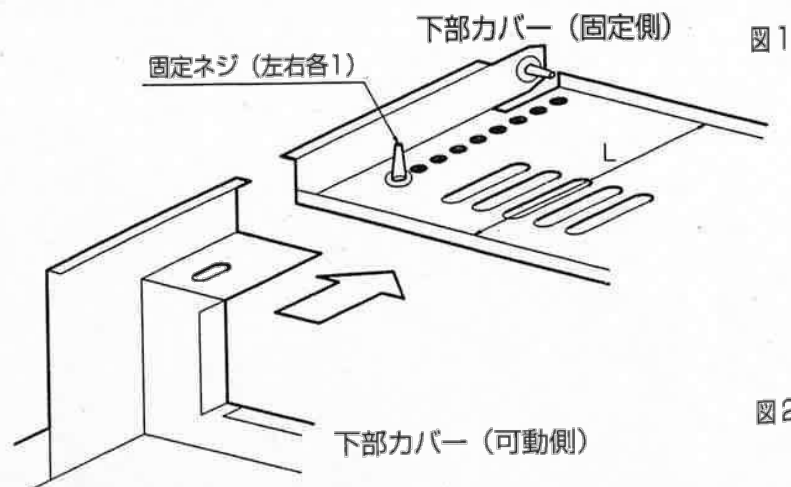
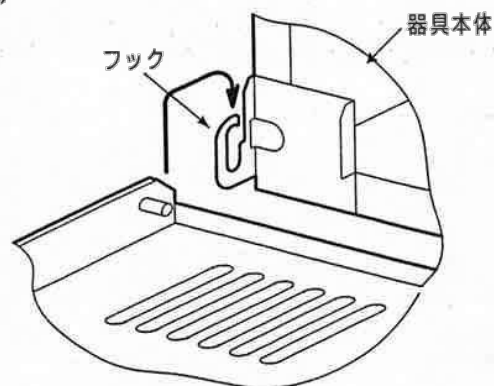
⑭ 下部カバーを取り付ける

- 下部カバー(固定側)を本体のフックに差し込む。(図1)
- 下部カバー(固定側)に取り付けている固定ねじ(黒タッピン×2)を外す。
- 下部カバー(可動側)を固定側に差し込む。(図2)

NE-B701S, NE-B702Sの場合

カウンター高さ
750~800 mm
Lが長いもの

カウンター高さ
700~750 mm
Lが短いもの



⑭ 下部カバーを取り付ける(つづき)

- 下図のように①下部カバーを持ち上げ①、本体の角穴に差し込み下に引っ張る②。(図3)
- 正面より下部カバーの固定側と可動側で穴が一致したところを固定ねじで固定する。(図4)
- 下部カバーを作動させ、正常に着脱できることを確認する。

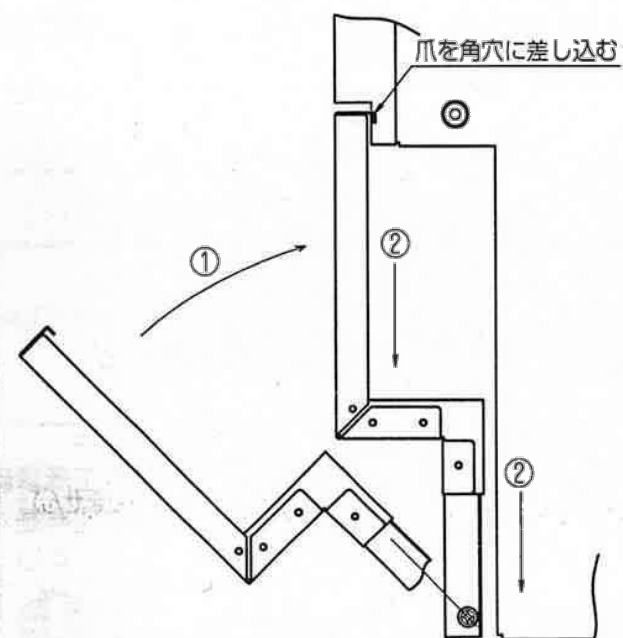


図3

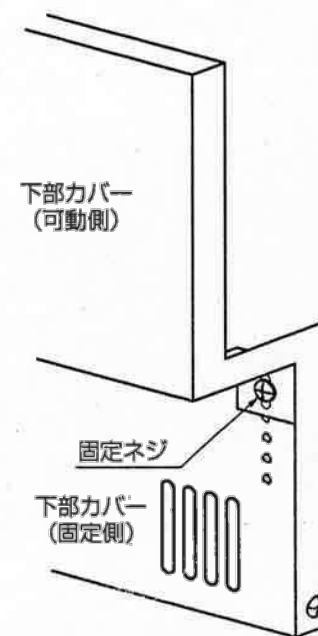


図4

⑮ 試運転する

- 表紙の「設置工事後の点検確認」の「●チェックリスト」によりチェックする。

製造者

松下電器産業株式会社 ガスシステム事業部

奈良県大和郡山市筒井町800番地

TEL (0743) 56-1121 〒639-11

KGM0313P07B1 M0896-1097